

平成19年度(2007年度)  
ヤマハ発動機スポーツ振興財団  
**年間事業報告書**



**YMFS**  
www.ymfs.jp

**YMFS**

財団法人  
**ヤマハ発動機スポーツ振興財団**

〒438-8501 静岡県磐田市新貝2500  
Tel. 0538-32-9827 Fax. 0538-32-1112

財団法人  
**ヤマハ発動機スポーツ振興財団**  
Yamaha Motor Foundation for Sports

平成19年度事業活動カレンダー

月 日	財団運営関連	事業関連		
		スポーツ振興支援事業	スポーツチャレンジ助成事業	スポーツ文化向上事業
<b>平成18年</b>				
9 27	・設立発起人会			
11 20	・伊吹文部科学大臣許可 ・財団設立(基本財産1億) (運用財産・管理費1.3億)			
28	・設立登記			
12 7			・チャレンジャー募集開始 (12/7 ~ 2/末)	・財団設立リリース ・チャレンジャー募集リリース
12 27	・ヤマハ発動機からの運用財産 特定目的積立金6千万確約			・ホームページ立ち上げ
<b>平成19年</b>				
1 15	・運用財産・管理費1.3億入金			
2 14	・理事会 評議員会			
2 28			・チャレンジ助成公募締め切り	
3 30			・審査委員会 (助成対象者決定)	
4 11				・助成金対象者決定リリース
4 24			・チャレンジ助成金贈呈式	
5 2				・YMFS通信 Vol. 1 発刊
6 18			【第一期生:活動支援Ⅰ】 ・チャレンジャーカルテ (目標管理シート) (四半期報告) ・チャレンジャーとの コミュニケーション (メールマガジン) (応援訪問)	・チャレンジャー第二期生 募集案内(インフォメーション)
6 25		・水辺の風景画コンテスト 募集リリース (7/10 ~ 9/30)		
6 28		・YMFS通信 Vol. 2 発刊		
7 10		・教育機器募集開始 (7/10 ~ 9/10)		
8 8		・マリネ提携スクール 生徒、保護者アンケート 能力測定開始	・チャレンジャー募集開始 (9/1 ~ 11/16)	・チャレンジャー第二期生 募集開始インフォメーション
9 14	・JMPF清算、YMFSに統合 (財産移管・事業移管)	・教育機器抽選 交付先決定配布	【第一期生:活動支援Ⅱ】 ・四半期報告、返答 ・メールマガジン ・応援訪問 ・YMFS通信掲載 ・Web掲載	・教育機器交付先決定リリース ・YMFS通信 Vol. 3 発刊 ・ホームページリニューアル ・水辺の風景画コンテスト 募集締め切り
9 18	(基本財産 2.4億円に)			
9 24				
9 30				
10 11		・マリネ提携スクール会議		・水辺の風景画コンテスト 本選会にて賞決定
10 26				
11 16			・チャレンジ助成公募締め切り (第二期生募集締め切り)	
11 30	・ヤマハ発動機からの運用財産 特定目的積立金6千万入金	・マリネ提携スクールへの 具体的支援開始		
12 7	・理事会 評議員会			
12 14				・YMFS通信 Vol. 4 発刊



財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団  
理事長 長谷川 至

ごあいさつ

ヤマハ発動機スポーツ振興財団の第一期事業活動を報告させていただくにあたり、先ずもって、ご指導をいただいた文部科学省の皆様をはじめ理事、評議会、審査員の方々並びに、関係各位のご協力に感謝申し上げます。

振り返れば、平成18年11月20日、当時の伊吹文部科学大臣より、設立許可をいただいてから平成19年12月まで、あっという間に過ぎた1年1カ月でした。

財団運営においては、初めてのことばかりで多少の戸惑いもありましたが、スポーツを愛する多くの方々の熱意とご協力のおかげで、初年度としては、予想を上回る活動実績を残すことができたのではないかと考えております。

特に、当財団の活動ポリシーであります「夢の実現にチャレンジする人を応援する」を具現化し、「目標に向かってチャレンジする尊さ」を訴えるべく実施いたしましたスポーツチャレンジ助成事業では、大変多くの応募があり、その中から選ばれたチャレンジャー一人ひとりのひたむきな努力は、社会はもちろん、運営する我々にも大いに勇気を与えてくれました。

また、スポーツ振興支援事業では、JMPF(日本マリネスポーツ普及教育振興財団)からの事業を引き継ぎ、マリネスポーツ振興事業を開始いたしました。具体的な実施策は平成20年度となりますが、数多くの子供たちが海に親しみ、元気にマリネスポーツを楽しめるよう努力してまいります。

教育機器提供では、数多くの応募と共に指導者の方々の熱心な取り組みが伝わってきましたし、水辺の風景画コンテストにおいては、夏休みに水辺で元気に遊んだ思い出や水辺の生き物、海で働く人や環境についてなど、子供たちのさまざまな視点の作品が寄せられ、その観察力の鋭さに驚かされました。

このように、教わるが多かった1年でありましたが、「事業活動を軌道に乗せる」という初年度目標は達成したものと考えております。

平成20年度は、より一層充実した事業活動を展開する所存でございます。何卒、この活動報告をご覧いただき、忌憚のないご意見をいただければ幸いです。

今後とも、よろしくご指導・ご支援をお願い申し上げます。

平成20年2月22日

Contents

総括編

平成19年度事業活動カレンダー 2

平成19年度の全体報告 3

スポーツ振興支援事業 5

スポーツチャレンジ助成事業 7

スポーツ文化向上事業 9

活動実績編

スポーツ振興支援事業 12

スポーツチャレンジ助成事業 23

スポーツ文化向上事業 27

WEBサイト 30

YMFS通信 31

# 平成19年度の全体報告

## 財団全体活動

平成18年	11月22日	設立、活動開始（基本財産1億円）
平成19年	1月15日	運用財産・管理費 13億円入金
平成19年	2月14日	理事会、評議員会開催
平成19年	9月14日	JMPFを統合（基本財産14億円を繰り入れ、24億円とする）
平成19年	11月30日	特定目的積立金 6千万円入金
平成19年	12月7日	理事会、評議員会開催

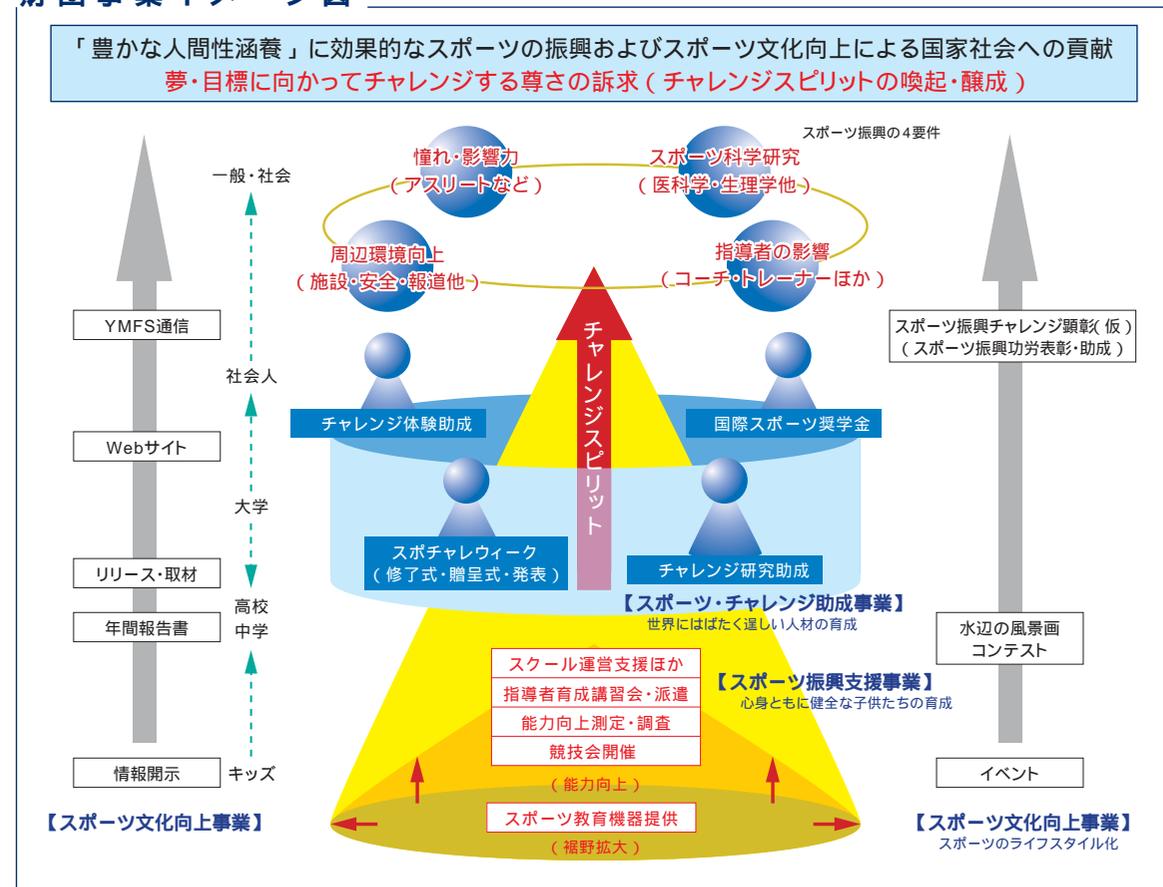
## 財団活動のテーマ

- 平成19年度テーマは「確実に財団活動を軌道に乗せる」
- 平成20年度テーマは「事業の充実化と着実な成果」
- 平成21年度テーマは「財団の社会的ステータス向上と公益財団法人申請・許可取得」

## 財団スローガン

スポーツを通じて、夢の実現にチャレンジする人を応援します

## 財団事業イメージ図



## 平成19年度 主な事業

スポーツ振興支援事業については、JMPF統合に伴うマリンスポーツ振興事業をスタート  
スポーツチャレンジ助成事業については、募集・審査・助成・応援・成果確認(PDCA)の確実な実施  
スポーツ文化向上事業については、財団活動の理解促進の為に情報開示を積極的に実施

## 具体的事業活動

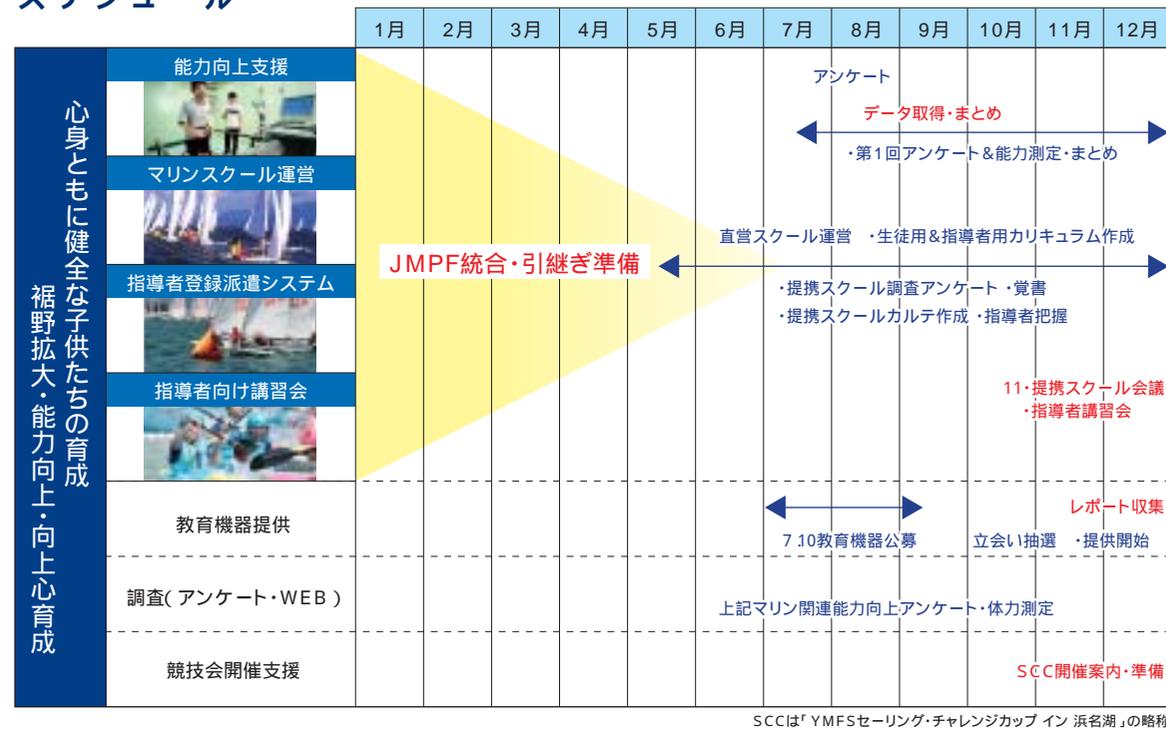
- (1)スポーツ振興支援事業
  - JMPFマリンスクール事業の引継ぎ  
提携スクールネットワーク(全国15スクール)を設置し連携強化。以下の活動指針を確認  
スクールの充実 / 地域活動への協力 / 裾野拡大への努力  
スクールの充実に向け、安全設備支援および指導者資格取得支援を開始
  - 教育機器の提供は、全国42都道府県より220件の応募に対し48セット配布。有効活用を確認
- (2)スポーツチャレンジ助成事業
  - チャレンジ体験助成応募者74名、内15名に助成  
チャレンジャーの努力を確認。目標に向かってチャレンジする姿をWebやYMFS通信を通じて伝達
  - チャレンジ研究助成応募者101名、内16名に助成  
同上
  - 国際スポーツ奨学金応募者16名、内3名(日本人1名、外国人2名)に助成  
同上
- (3)スポーツ文化向上事業
  - 各種リリース、取材対応等のPR活動およびWebサイトの充実化による社会認知、理解促進を実施
  - YMFS通信を4号発刊。プレス、大学、教育委員会、体育協会ほか関連各所に配布、活動を紹介
  - 「水辺の風景画コンテスト」は全国47都道府県より6328件の応募があり、文部科学大臣賞、国土交通大臣賞、環境大臣賞、農林水産大臣賞など34名を表彰

## 活動の総括

- 財団活動初年度、順調な滑り出し
- 財政基盤の安定化  
ヤマハ発動機からの安定した寄附金収入、JMPF統合に伴う基本財産の積み増し
  - 着実な事業活動推移  
各事業の順調な滑り出しおよびJMPF事業の円滑な引継ぎ
  - 的確な情報伝達  
PR体制、Web、YMFS通信などインフラ構築に伴う的確な情報伝達による予想を上回る反響

# スポーツ振興支援事業

## スケジュール



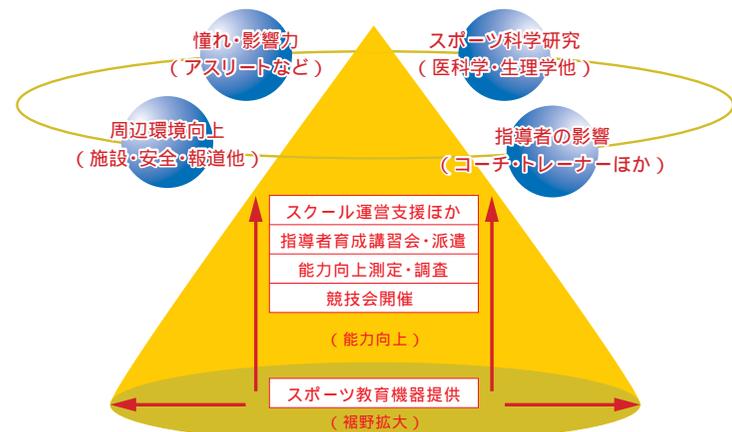
## テーマ

子供たちの能力向上およびスポーツへの参加促進によるスポーツ振興をスタートする

## 課題

スポーツ振興4要件の充実化のための企画立案・実行  
JMPF統合に伴いマリンスポーツ(ヨット)からスタートする

## スポーツ振興4要件の充実化のための施策



## 活動報告

### (1) マリンスポーツ振興

#### 1. 提携スクール(ネットワーク)の設置

JMPF事業引継ぎと共に「YMFSマリンスポーツ振興・提携スクール会議」を開催(10月11日)  
全国15のヨットスクールの提携意志を確認し、マリンスポーツ振興4要件の充実化策として下記を提案、了承を得る。また、スクールの充実に向けた安全施設支援や指導者資格取得支援を開始した。

#### 1) スクールの充実

日本体育協会指導員資格取得+YMFS提案の指導講習受講(指導者レベル向上)  
/ 施設充実および安全対策の促進 / 子供たちの能力向上 / SCCイン浜名湖参加

#### 2) 地域活動への協力

地域海洋クラブ、総合型クラブ設立や活動への協力 / 地域ボランティア活動協力

#### 3) 裾野拡大への努力

海の日イベント開催 / 親子参加型イベントメニュー開発 / ネットワーク連携強化

#### 2. 提携スクール生・保護者アンケートから

スクール生、保護者共に自己判断力、自然への感性、自己成長性のスコアが高く、スクールの意義と価値を実感。一方で、リーダーシップや対人関係スキルなどのスコアは低い。

横(同年代)と縦(年代層)の関係の中でリーダーシップや責任感、思いやりなどを伸ばす必要も  
保護者からスクールの方針説明が欲しいなどスクールに対する期待と要求が高まっている

食育に関しては、意識や関心はあるものの実行している人は少なく、食育の指導講習が必要

#### 3. 提携スクール生能力向上のための体力測定から

10箇所のヨットスクールでシャトルラン、反復横跳び、握力などの体力測定を実施したものの、測定サンプル数が非常に少ないため、公表するに及ばず。従って、今回の体力測定は、今後の正確な測定結果抽出のためのテストと位置づける

### (2) スポーツ機器提供

#### 1. 7月10日より9月10日の2ヶ月間公募を実施(ラグビーボール、サッカーボール、ストップウォッチ他)

42都道府県 220団体から応募あり。申請者のスポーツ普及への熱意がうかがえる

#### 2. 厳正な抽選の上、48団体に教育機器を提供

#### 3. 実施報告は本誌18頁を参照。当選者の有効な使用により、役に立っていることがわかる

## 総括と課題

#### 1. JMPFマリンスポーツ振興事業を引き継ぎ、順調なスタートを切った。

次年度は、提携スクールネットワークおよび関連他団体の協力を仰ぎながら具体策を実行に移す  
スクールの充実 / 地域活動への協力 / 裾野拡大への努力

#### 2. 裾野拡大のための施策である「教育機器提供」には大変多くの応募があり、スポーツ指導者の熱意が十二分に伝わってきた。

次年度は、提供数を増やし、少しでも多くの子供たちがスポーツを楽しめる環境作りをする

# スポーツチャレンジ助成事業

## スケジュール



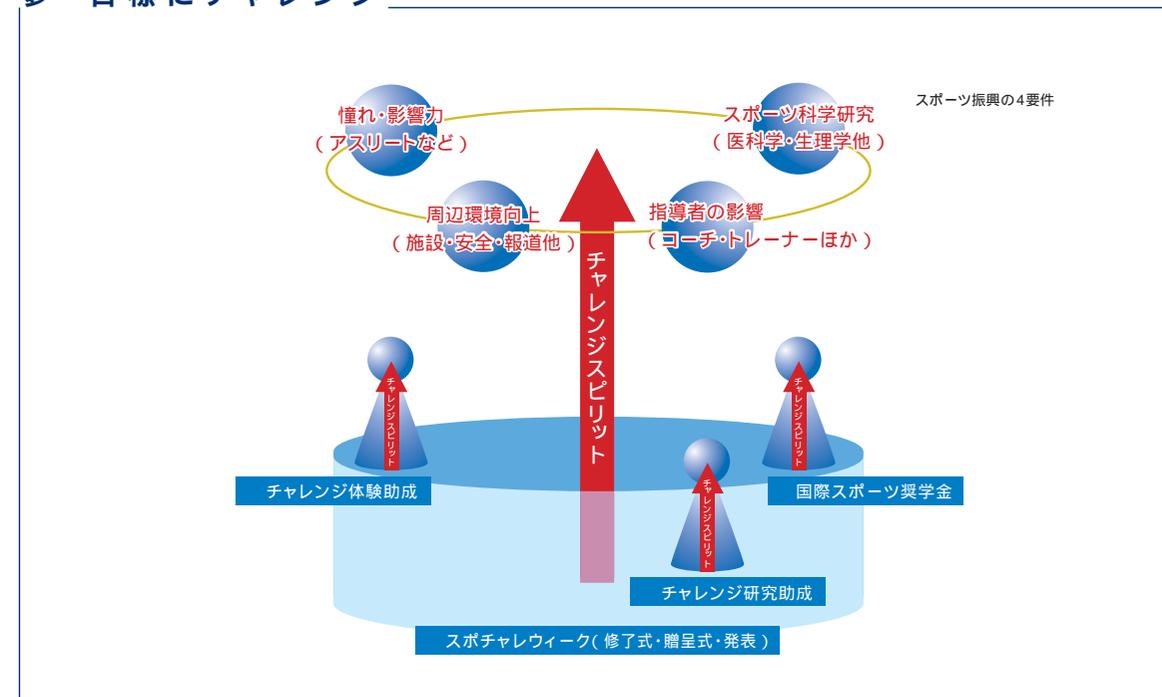
## テーマ

チャレンジャーが目標達成支援による成果の実感(人間的成長含む)を得て、NEXTの目標設定をする

## 課題

チャレンジャーとの円滑なコミュニケーション

## 夢・目標にチャレンジ



## 活動報告

### (1) 募集活動と審査

- 平成18年12月から平成19年2月末の募集期間に  
体験助成 74件、研究助成 101件、奨学生 16件 計191件
- 平成19年3月書類審査、一次審査を経て、3月30日に審査委員会(第二次審査・面接)を開催  
体験助成15名、研究助成16名、奨学生3名を決定

### (2) 助成金贈呈式と助成開始

- 4月24日マイプラザにて贈呈式を開催  
助成金対象者の目標に向かってのチャレンジ開始

### (3) チャレンジ支援の為にコミュニケーション

- 年間計画、四半期計画・報告書の提出依頼とコメント送付  
チャレンジャーから四半期毎に進捗報告をしてもらい浅見委員長のコメント、アドバイスを返信
- 各チャレンジャーの進捗を把握し、トピックスをメールマガジンとして事務局より送付
- チャレンジャーを訪問・応援すると共に努力する姿をレポート。YMFS通信やWebサイトで紹介  
上記は、チャレンジャーにとって、活動を振り返る良い機会となり刺激となって士気高揚につながった  
また、YMFS通信読者やWebサイト閲覧者にチャレンジする尊さを訴え、勇気を与えている

### (4) チャレンジャーの成果・プロセス確認およびNEXT目標の設定

- 年度が平成19年4月から平成20年3月となる為、最終成果確認として、成果発表会を4月に開催予定  
その為、現在12月までの成果と残り3ヶ月の見通しを四半期報告の中で確認中  
同時にNEXT目標の設定を促している

## 総括

チャレンジ期間は平成20年3月までであるが、年間報告の都合上、12月までを総括する

- 第一期生募集については、初めての事業活動で認知が広がるかと心配したが予想を上回る応募が来た  
・理由として大学側の学生への積極的な告知活動による  
・一方で、奨学生募集については時期的に遅く応募が少なかった
- 体験チャレンジャーの大半が当初目標(年間目標)に対し、クリアもしくは近づき、概ね順調に推移。  
クリアしたチャレンジャーはNEXT目標に向けて、目標に近いチャレンジャーはクリアに向けて奮闘中
- 研究チャレンジャーおよび奨学生は、目標チャレンジの性格上、成果確認はH20年3月まで待つしかないが、現在のところ非常に順調であり、成果発表会(平成20年3月開催)が楽しみなところ

チャレンジャーの目標に向かうチャレンジ努力は競技の戦績や研究成果とは別の大きなプロセス成果を生み出しており、必ずや成長の糧となって、人生の大きな1ページを刻んだはず。また、そのことが社会のチャレンジスピリットの喚起に結びついているものと思う



MEMO

## スポーツ振興支援事業

### YMFSマリンスポーツ振興・提携スクールネットワーク

10月11日、YMFSおよび下記セーリングクラブがヤマハ発動機コミュニケーションプラザにて、マリンスポーツ振興における活動について協議。提携スクール(ネットワーク)としてお互いが協力して振興活動を行うことを確認した

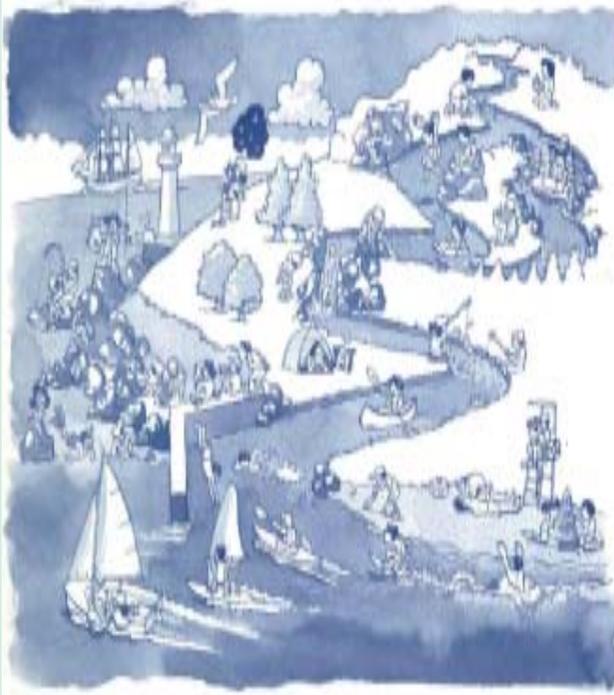
#### 提携スクール一覧

	地区	団体名称	担当分野	会員数	ジュニア	指導者	備考
1	北海道	室蘭セーリング協会	全般	85	148	16	
2	東北	いわきジュニアヨットクラブ	ジュニア	8	8	3	
3	関東	(社)江ノ島ヨットクラブ	ジュニア	92	92	24	
4		リプル・セイリングクラブ	成人	60	0	2	
5		野比ヨットクラブ	成人	—	—	—	オーナー会員保管
6		(社)横浜港振興公社	成人	133	0	3	成人スクール中心
7		マリンボックス100	成人	245	0	3	成人スクール中心
8	関西	琵琶湖ジュニアセーリングスクール	ジュニア	11	11	10	
9	中国	鳥取県ジュニアヨット協会	ジュニア	9	4	3	
10		(財)岡山県牛窓海洋スポーツ振興会	全般	—	15	6	県セーリング連盟連携事業 (体験教室運営)
11	九州	鹿屋海洋スポーツクラブ	ジュニア	23	13	3	
12		宮崎ジュニアヨットクラブ	ジュニア	22	13	6	
13		佐賀県玄海セーリングクラブ	ジュニア /ユース	65	50	16	
14	沖縄	宜野湾海洋教室	ジュニア	206	206	3	年間活動
15	直営	YMFS葉山ジュニアヨットスクール	ジュニア	8	8	5	
合計				967	434	103	



提携スクール会議での確認事項

YMFS マリンスポーツ振興に必要な要件の確認

<p><b>ヨットスクール</b></p> <p><b>学ぶ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自然科学</li> <li>スポーツマンシップ</li> <li>礼儀、準備、片付、報告他</li> <li>安全対策</li> <li>スポーツと栄養</li> <li>ヨット特性</li> <li>その他 (保護者の協力など)</li> </ul> <p><b>スポーツする</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>体力づくり</li> <li>シーマンシップ</li> <li>操船技術など</li> <li>指導員確保 (生徒10名に2名以上)</li> <li>指導者資格</li> <li>能力向上調査、アドバイス</li> <li>その他</li> </ul> <p><b>施設</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>AED設置</li> <li>緊急連絡網</li> <li>各種保険</li> <li>練習艇と救助艇</li> <li>指導用機材とスクール機材</li> <li>方針、考え方の明示</li> <li>保護者の協力</li> </ul>		<p><b>地域海洋クラブ</b></p> <p><b>学ぶ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>気象、海象、地勢</li> <li>自然科学</li> <li>環境</li> <li>生き物</li> <li>乗り物</li> <li>働く乗り物、人</li> <li>風景画</li> <li>地域特長</li> <li>その他</li> </ul> <p><b>スポーツする</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>セーリング</li> <li>カヌー</li> <li>カッター訓練</li> <li>ビーチスポーツ</li> <li>遠泳など</li> </ul> <p><b>どこで、誰が、何を</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自治体、学校</li> <li>マリーナ、クラブ</li> <li>実地、帆船、海賊船など</li> <li>週、月単位、合宿など</li> <li>海の日などイベント</li> <li>親子参加型メニュー</li> </ul>			
<p><b>社会インフラ向上</b></p> <table border="1"> <tr> <td style="background-color: #e0f2f1;"> <p><b>安全</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>レスキュー</li> <li>救命処置講習</li> <li>救急法救助員</li> <li>水上安全法救助員</li> </ul> </td> <td style="background-color: #e0f2f1;"> <p><b>環境</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ビーチクリーン</li> <li>サンクチュアリ</li> <li>環境保全活動</li> </ul> </td> <td style="background-color: #e0f2f1;"> <p><b>福祉</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>バリアフリー (ユニバーサルデザイン)</li> <li>ブラインドセーリング</li> <li>障がい者マリンスポーツ</li> </ul> </td> </tr> </table>			<p><b>安全</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>レスキュー</li> <li>救命処置講習</li> <li>救急法救助員</li> <li>水上安全法救助員</li> </ul>	<p><b>環境</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ビーチクリーン</li> <li>サンクチュアリ</li> <li>環境保全活動</li> </ul>	<p><b>福祉</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>バリアフリー (ユニバーサルデザイン)</li> <li>ブラインドセーリング</li> <li>障がい者マリンスポーツ</li> </ul>
<p><b>安全</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>レスキュー</li> <li>救命処置講習</li> <li>救急法救助員</li> <li>水上安全法救助員</li> </ul>	<p><b>環境</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ビーチクリーン</li> <li>サンクチュアリ</li> <li>環境保全活動</li> </ul>	<p><b>福祉</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>バリアフリー (ユニバーサルデザイン)</li> <li>ブラインドセーリング</li> <li>障がい者マリンスポーツ</li> </ul>			

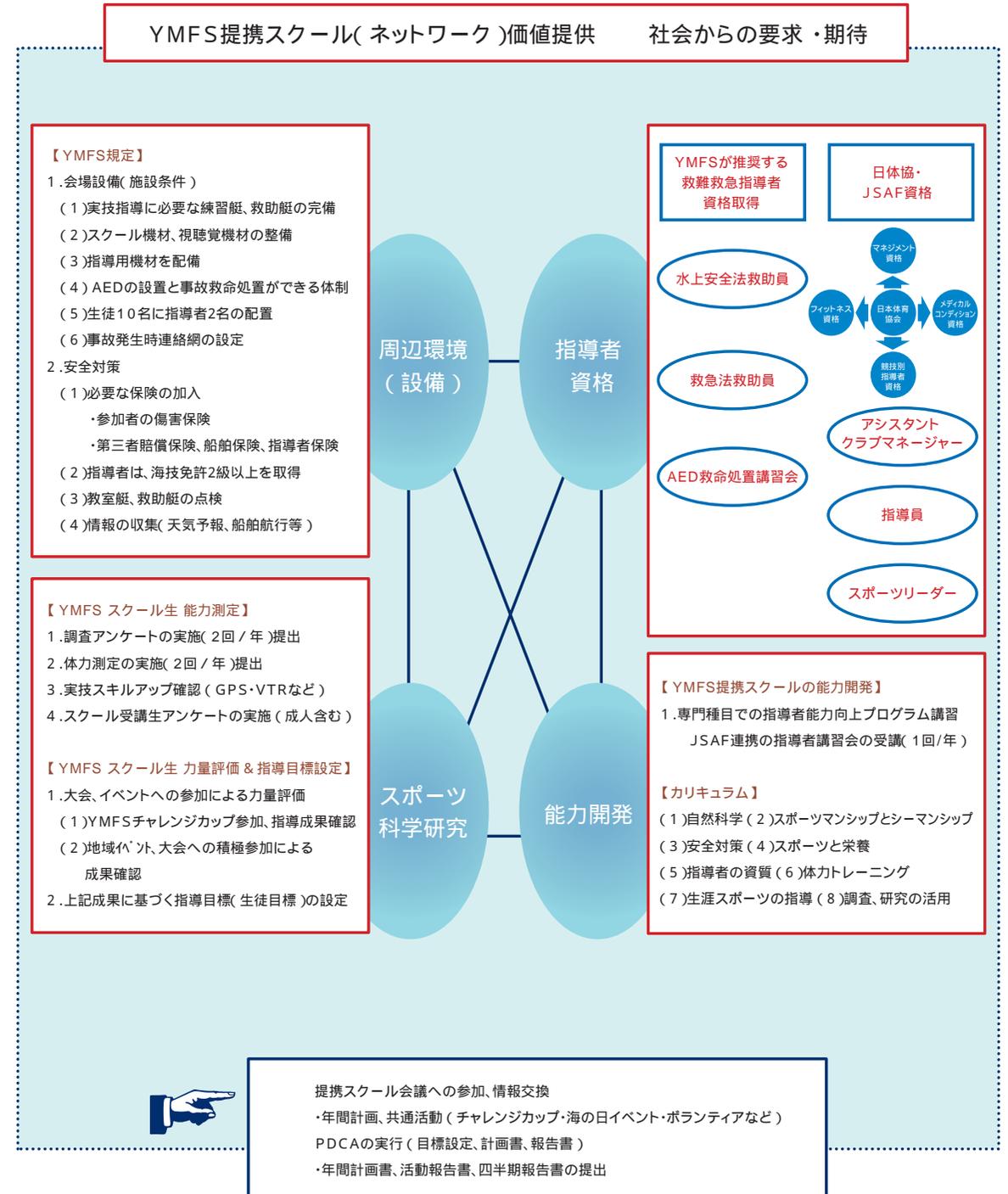
四省(文部科学省・国土交通省・環境省・農林水産省)連携の子供たちの体験活動促進  
安全・環境・福祉活動の高まり

YMFS マリンスポーツ振興提携スクール会議の確認事項

<p>YMFS提携スクール(ネットワーク)価値提供</p>	<p>高まる社会からの要望・期待</p>
<p>1. スクールの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日体協指導員資格取得・レベル向上</li> <li>安全のための施設の充実化</li> <li>子供たちの能力向上</li> </ul>	<p>2. 地域活動への協力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域海洋クラブ設立や活動への協力</li> <li>地域ボランティア活動への協力</li> <li>地域社会インフラ整備への協力</li> </ul>
<p>3. 裾野拡大への努力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>海の日を活かしたイベント開催</li> <li>親子参加型メニュー開発</li> <li>ネットワーク連携強化</li> </ul>	

提携スクール(ネットワーク)提携要件と財団支援

提携要件



提携スクール(ネットワーク)提携要件と財団支援

財団からの支援

区分	項目	資格名称	費用概算			内訳(対象)	内容	平成19年度	平成20年度
			共通科目	専門科目	小計				
1.資格制度	指導者資格	指導員	21,000	14,700	35,700	14名	指導者およびアシスタントマネージャーの資格取得費用の補助を実施 平成20年以内  各スクール指導員1名アシスタントマネージャーは平成21年以内に1名平成22年迄は毎年1名補助	(専門科目)11月JSAF講習会 (共通科目)通信講座但し上級は講習会あり	
		上級指導員	14,700	10,500	25,200				
	日体協公認	コーチ	18,900	10,500	29,400				
	指導者資格	上級コーチ	46,200	16,800	63,000				
	マネジメント	アシスタントマネージャー	21,000		21,000	14名			
				費用					
	安全資格	水上安全法救助員		2,000	2,000		各スクールで取得講習会の実施 (注)平成20年以内AED講習は年内	×	×
	AED救命処置講習		無料						
	救急法救助員		無料						
2.調査研究	スポーツ科学研究	調査分析・委託				体力測定、能力向上の調査協力	調査結果のフィードバック		
3.設備	安全備品	AED	1,500	1,500	レンタル料金(月額)	全施設に設置 (注)既に設置スクールは除く 平成19年内設置	-	-	
		(自動体外式除細動器)	350,000	350,000	購入			×	
	教室艇	教室艇貸与			8隻	Y-14、Y-11の整備、運搬諸費		×	
	能力向上機器	能力向上機器	428,500		ジュニア10ヶ所	体力測定、能力向上機材の整備	実施済み		
	機材	テキスト			ジュニア、成人指導者用	・DVD2,500円予定 ・テキスト別途設定	×		
		DVD							
4.影響力	トップアスリート	提携スクール派遣		50,000	14ヶ所	専門講師、トップ選手の派遣事業			
	講師派遣								

YMFS助成事業(AED設置/指導者資格所得)設置、受講状況(平成19年12月28日現在)



区分	地区	団体名称	AED/救急蘇生セット		指導者資格		備考 赤字:YMFS補助
			平成19年度	平成19年度YMFS補助設置箇所	平成19年度	平成20年度YMFS補助有資格者(予定)	
1	北海道	室蘭セーリング協会	×				AEDは、体協で次年度設置予定 指導者資格講習(北海道で実施 10月)
2	東北	いわきジュニアヨットクラブ	×		×		AED設置(12月)いわきサンマリーナ 指導者資格受講者 2名 (12月、1月専門講習受講)
3	関東	(社)江の島ヨットクラブ		-			
4		リブル・セイリングクラブ	×	×			
5		野比ヨットクラブ	×	×	×	×	再度徹底を図る
6		(社)横浜港振興公社	×				AED設置(12月)八景島マリーナ
7		マリンボックス100	×	×	×	×	再度徹底を図る
8	関西	琵琶湖ジュニアセーリングスクール	×		×		AEDレンタル対応(ヤマハマリーナ琵琶湖) 指導者資格受講者 4名
9	中国	鳥取県ジュニアヨット協会	×	×	×	×	再度徹底を図る
10		(財)岡山県牛窓海洋スポーツ振興会	×				AEDは、隣接の消防署で対応
11		鹿屋海洋スポーツクラブ	×	×			
12	九州	宮崎ジュニアヨットクラブ					
13		佐賀県玄海セーリングクラブ		救急蘇生含む			応急蘇生装置を設置 指導者資格受講者 1名
14	沖縄	宜野湾海洋教室	×		×		AEDは、新設マリーナで次年度設置 指導者資格受講者 1名(2月専門講習受講)
15	直営	YMFS葉山ジュニアヨットスクール	×	救急蘇生含む			AED設置(12月)葉山マリーナ

AEDの設置 : 新規設置箇所(3ヶ所)、救急蘇生セット(2ヶ所)及びAED救命処置講習会受講予定者(7名)

指導者資格取得: 新規資格取得(4ヶ所、10名)

提携スクール(ネットワーク)提携要件と財団支援

1 公認指導者取得の申請状況(平成19年12月28日現在)

クラブ	取得人員	日程
室蘭セーリング協会	1	平成19年10月(北海道)
いわきジュニアヨットクラブ	2	平成19年12月7~9日及び平成20年1月12~14日(東京)
琵琶湖ジュニアセーリングスクール	4	平成19年12月7~9日及び平成20年1月12~14日(東京)
佐賀県玄海セーリングクラブ	1	平成20年2月23~24日(大分)
宜野湾海洋教室	1	平成20年2月9~11日(福岡)
合計	9	

2 AED設置申請状況及び緊急蘇生セット設置予定

クラブ	個数	日程
いわきジュニアヨットクラブ	1	平成19年12月末 設置予定
(社)横浜港振興公社	1	平成19年12月末 設置完了
葉山マリーナ	1	平成19年12月末 設置予定
佐賀県玄海セーリングクラブ	1	平成20年1月 設置(緊急蘇生セット)
葉山ジュニアヨットスクール	1	平成20年1月 設置(緊急蘇生セット)
合計	5	

3 教室艇貸与の申請状況

クラブ	艇種		使用場所	日程
	隻数	隻数		
	M/H	SR		
いわきジュニアヨットクラブ	2	0	小名浜マリーナ	平成20年チャレンジカップ参加予定
宜野湾海洋教室	2	2	宜野湾マリーナ	平成20年チャレンジカップ参加予定
室蘭セーリング協会	2	3	エンルムマリーナ	平成20年チャレンジカップ参加予定
佐賀県玄海セーリングクラブ	4	4	佐賀県ヨットハーバー	平成20年チャレンジカップ参加予定
合計	10	9	YMFS教室艇貸与	

教育機器提供の応募状況

【応募期間】 平成19年7月10日~9月10日 【応募件数】 220件

【県別 応募状況】

	5号	4号	公式	ジュニア	ストップウォッチ	万歩計	合計
北海道	3	3	0	1	9	0	16
青森県	0	2	0	1	4	0	7
岩手県	1	1	1	1	1	0	5
宮城県	0	1	0	0	2	0	3
秋田県	0	0	0	0	1	0	1
山形県	0	1	0	0	0	0	1
福島県	0	0	0	0	2	0	2
茨城県	2	0	0	0	3	0	5
栃木県	0	0	0	0	2	0	2
群馬県	1	1	0	0	1	0	3
埼玉県	0	0	1	1	5	0	7
千葉県	1	3	0	2	2	0	8
東京都	1	1	0	0	3	1	6
神奈川県	1	5	0	0	1	0	7
新潟県	1	2	0	0	2	0	5
富山県	0	1	0	0	1	0	2
石川県	1	1	0	2	1	0	5
福井県	0	0	0	0	0	0	0
山梨県	0	1	0	1	1	1	4
長野県	1	3	0	0	1	0	5
岐阜県	1	2	0	1	5	0	9
静岡県	2	3	0	1	10	1	17
愛知県	1	0	0	1	0	0	2
三重県	0	1	0	0	1	0	2

	5号	4号	公式	ジュニア	ストップウォッチ	万歩計	合計
滋賀県	0	1	0	0	0	0	1
京都府	0	3	0	0	2	0	5
大阪府	0	2	0	0	11	0	13
兵庫県	2	1	0	2	4	0	9
奈良県	1	0	0	1	2	0	4
和歌山県	3	0	0	0	4	0	7
鳥取県	1	0	0	0	2	0	3
島根県	0	0	0	0	0	0	0
岡山県	0	0	0	0	4	0	4
広島県	1	0	0	0	6	1	8
山口県	1	0	1	0	3	0	5
徳島県	0	0	0	0	1	0	1
香川県	0	0	0	0	0	0	0
愛媛県	0	3	0	0	2	1	6
高知県	0	0	0	0	0	0	0
福岡県	0	2	1	0	6	0	9
佐賀県	0	0	0	0	0	0	0
長崎県	0	0	0	0	1	0	1
熊本県	1	0	0	1	2	0	4
大分県	2	0	1	2	5	1	11
宮崎県	0	0	0	1	0	0	1
鹿児島県	0	0	0	0	3	0	3
沖縄県	0	0	0	0	1	0	1
合計	29	44	5	19	117	6	220

42都道府県から応募 約半数がストップウォッチを希望

【団体別 応募状況】

	幼保	小学	中学	高校	養護	総合クラブ	教委	体協	団体	少年団	陸上競技協会	サッカー協会	ラグビー協会	グラウンドゴルフ協会	合計	主な用途	提供数
サッカー5号	0	0	13	2	4	2	2	1	2	0	0	3	0	0	29	部活動・授業	15
サッカー4号	1	16	0	0	0	7	1	1	4	12	0	2	0	0	44	スクール・大会・授業	10
ラグビー公式	0	0	1	1	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	5	部活動・スクール	5
ラグビージュニア	4	6	1	0	0	1	1	0	3	1	0	0	2	2	19	授業・教室	5
ストップウォッチ	1	54	16	6	0	6	3	8	6	14	3	0	0	0	117	マラソン/持久走大会・授業	8
万歩計	0	3	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	トレーニング・授業	5
合計	6	79	31	9	6	16	7	10	18	27	3	5	2	2	220		48

小学校とスポーツ少年団で約半数の応募

ストップウォッチの使用用途は校内競技会やマラソン大会など

当然のことながら指導者からの応募が多く、申請コメントから熱心さが伝わってきた

## 教育機器提供先一覧

## 【サッカーボール5号球】（公式球1個、練習球3個）提供数 15

No.	団体種別	団体名	都道府県	活動種別
1	中学校	水戸市立笠原中学校サッカー部	茨城	部活動
2	中学校	米子市立美保中学校サッカー部	鳥取	部活動
6	教育委員会	かつらぎ町教育委員会	和歌山	部活動
7	中学校	高砂市立荒井中学校	兵庫	校内大会
9	中学校	遠軽町立南中学校	北海道	部活動・授業
11	養護学校	大分県立竹田養護学校	大分	授業
12	中学校	弥富市立弥富中学校	愛知	部活動
13	総合型クラブ	呉婆々宇スポーツクラブ	広島	大会
14	中学校	八王子市立第六中学校	東京	部活動
22	高校	新潟県立栃尾高等学校サッカー部	新潟	部活動
23	体育協会	御所市体育協会	奈良	市民総スポーツ
24	教育委員会	有田川町教育委員会	和歌山	部活動
25	養護学校	大分県立大分養護学校	大分	授業・クラブ活動
26	サッカー協会	山武市サッカー協会	千葉	大会
28	養護学校	茨城県立結城養護学校	茨城	部活動

## 【サッカーボール4号球】（練習球3個）提供数 10

No.	団体種別	団体名	都道府県	活動種別
2	団体	飯島少年サッカークラブ	長野	大会
6	総合型クラブ	掛川総合スポーツクラブ	静岡	スクール
16	総合型クラブ	尾花沢スポーツクラブ	山形	スクール
20	小学校	十日町市立東小学校	新潟	授業
25	総合型クラブ	特定非営利活動法人ごうどスポーツクラブ	岐阜	スクール
26	小学校	横浜市立上菅田小学校	神奈川	教室他
30	小学校	宮津市立由良小学校	京都	授業・校内大会
34	小学校	横浜市立峯小学校	神奈川	校内球技交流大会
38	少年団	下川サッカー少年団育成会	北海道	大会
42	団体	クレシエンテ成東	千葉	練習・大会

## 【ラグビーボール公式球】（公式球3個）提供数 5

No.	団体種別	団体名	都道府県	活動種別
2	団体	ぶんごヤングラガーズ	大分	スクール
3	中学校	北上市立江釣子中学校	岩手	部活動
4	団体	浮羽ヤングラガーズ	福岡	クラブ
5	高校	山口県立新南陽高等学校	山口	授業
6	団体	戸田ラグビーフットボールクラブオーバーザトップ	埼玉	交流大会

## 【ラグビーボールジュニア球】（ジュニア球3個）提供数 5

No.	団体種別	団体名	都道府県	活動種別
7	団体	大分豊府T.R.F.C	大分	クラブ
10	幼稚園	高砂市立米田幼稚園	兵庫	教室
15	中学校	上天草市立湯島中学校	熊本	授業
17	団体	十和田ラグビースクールRED HORSE	青森	練習・試合
18	教育委員会	釜石市教育委員会事務局生涯学習スポーツ課	岩手	教室

## 【プリンター機能付ストップウォッチ】（2個）提供数 8

No.	団体種別	団体名	都道府県	活動種別
19	小学校	泉南市立樽井小学校	大阪	マラソン大会
37	小学校	水戸市立妻里小学校	茨城	持久走大会
59	小学校	八王子市立第四小学校	東京	スポーツテスト他
84	小学校	和歌山市立芦原小学校	和歌山	マラソン大会
88	小学校	津山市立高倉小学校	岡山	運動会・陸上記録会
107	団体	壱岐ジュニアランナーズ	長崎	練習・大会
108	小学校	大月市立七保小学校	新潟	陸上記録会
113	高校	新潟県立新潟工業高等学校	山梨	授業

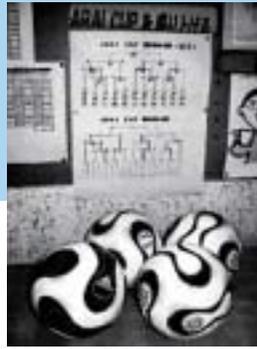
## 【万歩計】（10個）提供数 5

No.	団体種別	団体名	都道府県	活動種別
1	小学校	沼津市立第一小学校	静岡	授業
2	養護学校	大分県立庄内養護学校	大分	トレーニング
3	小学校	八王子市立由井第二小学校	東京	トレーニング
4	養護学校	山梨県立ふじざくら支援学校	山梨	授業
6	小学校	神石高原町立高蓋小学校	広島	歩行運動

教育機器提供先からの使用レポート(抜粋)

- 【応募期間】 平成19年年7月10日～9月10日
- 【目的】 提供機器活用による能力向上と裾野拡大
- 【効果】 提供先から「活用機会向上」「子ども達のレベル・体力促進が図れた」などの報告が多数寄せられた

【サッカーボール5号球】  
公式球1個、練習球3個  
提供数15ヶ所



「道具を大切に作る心」「感謝の心」を子どもに徹底し公式ボールを校舎内に展示  
高砂市立荒井中学校(兵庫)

クラブ活動の練習や試合に利用して、技術の向上に役立てている  
水戸市立笠原中学校サッカー部(茨城)

【サッカーボール4号球】  
練習球3個  
提供数10ヶ所



子どものサッカー教室(体育館内)で使用提供機材により子ども達の意欲が高まる  
掛川スポーツクラブ(静岡)

サッカーボールの提供を受けたことで、雪が降らない10月末まで子供たちが意欲的に練習に励むことができた  
下川サッカー少年団(北海道)

【ラグビーボール公式球】  
公式球3個  
提供数5ヶ所



ラグビーボールの提供により、ひとりあたりのボールに触れる機会が多くなり、技術の向上に貢献している  
浮羽ヤングラガーズ(福岡)

【ラグビーボールジュニア球】  
ジュニア球3個  
提供数5ヶ所



タグラグビーで使用したが、運動が苦手な子供たちもボールへかかわる姿が見られた。また、楽しんで取り組んでいるので持久力の向上にも繋がった  
上天草市立湯島小、中学校(熊本)

幼稚園でのボールに親しむ一歩として遊びの中で利用した。また社会人クラブの選手が講師となるラグビー教室でも使用した  
高砂市立米田幼稚園(兵庫)

【プリンター機能付ストップウォッチ】  
2個  
提供数8ヶ所



体育授業や学校内のマラソン大会の記録に活用。プリンター機能によりタイム集計が円滑にできた  
水戸市立妻里小学校(茨城)

全校マラソン(952名)、体育授業でのマラソンのタイム記録等に活用し、子ども達の体力向上に貢献  
泉南市立樽井小学校(大阪)

【万歩計】  
10個  
提供数5ヶ所



運動量が数値化されることで各生徒の目標設定が明確となり運動意欲を高めることができた  
沼津市立第一小学校(静岡)

各生徒の運動量の数値化により自分の健康について意識が高まり、運動に対する取り組み方が積極的になった。健康作りの学習や体験歩行等に役立つ  
県立庄内養護学校(大分)

## スポーツチャレンジ助成事業

### 応募状況

【YMFSスポーツチャレンジ助成 申請者全体】

		体験助成		研究助成	
助成対象者		74件 男性61件・女性13件 / 個人36件・グループ38件		101件 男性93件・女性8件 / 個人48件・グループ53件	
年齢	10代	7件 (9.4%)		0件	
	20代	25件 (33.8%)		31件 (30.1%)	
	30代	18件 (24.3%)		42件 (41.5%)	
	40代	12件 (16.2%)		20件 (19.8%)	
	50代	12件 (16.2%)		8件 (7.9%)	
平均年齢		34.8歳		35.1歳	
その他属性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・アスリート 27件</li> <li>・指導者 4件</li> <li>・審判 2件</li> <li>・スポーツ振興 29件</li> <li>・障がい者スポーツ 5件</li> <li>・その他 7件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校関係 4件</li> <li>・大学関係 22件</li> <li>・会社関係 28件</li> <li>・自治体関係 4件</li> <li>・NPO関係 7件</li> <li>・その他 9件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実践的研究 28件</li> <li>・基礎的研究 52件</li> <li>・文化研究 21件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教授 6件</li> <li>・助教授 17件</li> <li>・講師 16件</li> <li>・助手 6件</li> <li>・大学院生 28件</li> <li>・大学生 6件</li> <li>・高校教諭 1件</li> <li>・中学教諭 2件</li> <li>・その他 19件</li> </ul>



20代・30代を中心に幅広い年齢層からの応募  
 高校、大学に限らず、会社員やNPOなど多岐にわたる職種から応募  
 アスリートへの夢チャレンジが多かったが指導者やレフェリーを目指すなど広がりも見られた  
 少年団運営などスポーツ振興関連も多かったが、運営費補助など体験助成するには難しい案件も散見  
 短い募集期間ながら、多くの応募があった。その殆どに応募者の熱い思いが記してあり全員が夢達成することを祈る

20代・30代からの応募が72%  
 研究内容は多岐にわたり、個人とグループでの応募は半々  
 研究には実験・検証が伴うが、中には測定レベルで研究とってしまう応募もあった

【YMFSスポーツチャレンジ助成 助成対象者(決定者)】

		体験助成		研究助成	
助成対象者		15件 男性12件・女性3件 / 個人12件・グループ3件		16件 男性15件・女性1件 / 個人3件・グループ13件	
年齢	10代	4件 (26.7%)		0件	
	20代	8件 (53.3%)		5件 (31.2%)	
	30代	2件 (13.3%)		7件 (43.7%)	
	40代	1件 (6.7%)		3件 (18.8%)	
	50代	0件		1件 (6.3%)	
平均年齢		25.9歳		34.6歳	
その他属性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・アスリート 9件</li> <li>・審判 2件</li> <li>・高校関係 2件</li> <li>・会社関係 2件</li> <li>・サッカー 2件</li> <li>・ハンドボール 1件</li> <li>・陸上 2件</li> <li>・アドベンチャー 1件</li> <li>・チアリーディング 1件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者 1件</li> <li>・障がい者スポーツ 3件</li> <li>・大学関係 9件</li> <li>・その他 2件</li> <li>・ラグビー 1件</li> <li>・水泳 1件</li> <li>・馬術 1件</li> <li>・スケート 1件</li> <li>・セーリング 2件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門研究 2件</li> <li>・基礎研究 13件</li> <li>・文化研究 1件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教授 1件</li> <li>・助教授 3件</li> <li>・講師 3件</li> <li>・助手 1件</li> <li>・大学院生 5件</li> <li>・中学教諭 1件</li> <li>・その他 2件</li> </ul>
助成金額合計		1,392万円		2,256万円	
助成金額平均		92.8万円		141万円	



10代・20代の若い世代で80%選出  
 各種競技に分散しているのが特徴  
 障がい者スポーツは3名選ばれた

20代・30代の若い世代で75%選出  
 個人での研究は3件

【YMFS国際スポーツ奨学金 申請者全体および決定者】

	日本人留学生	外国人留学生
申請件数	2件 男性1件・女性1件	14件 男性8件・女性6件
奨学生(決定者)	1件 男性0件・女性1件	2件 男性2件・女性0件
奨学金 計(1年分)	120万円	240万円

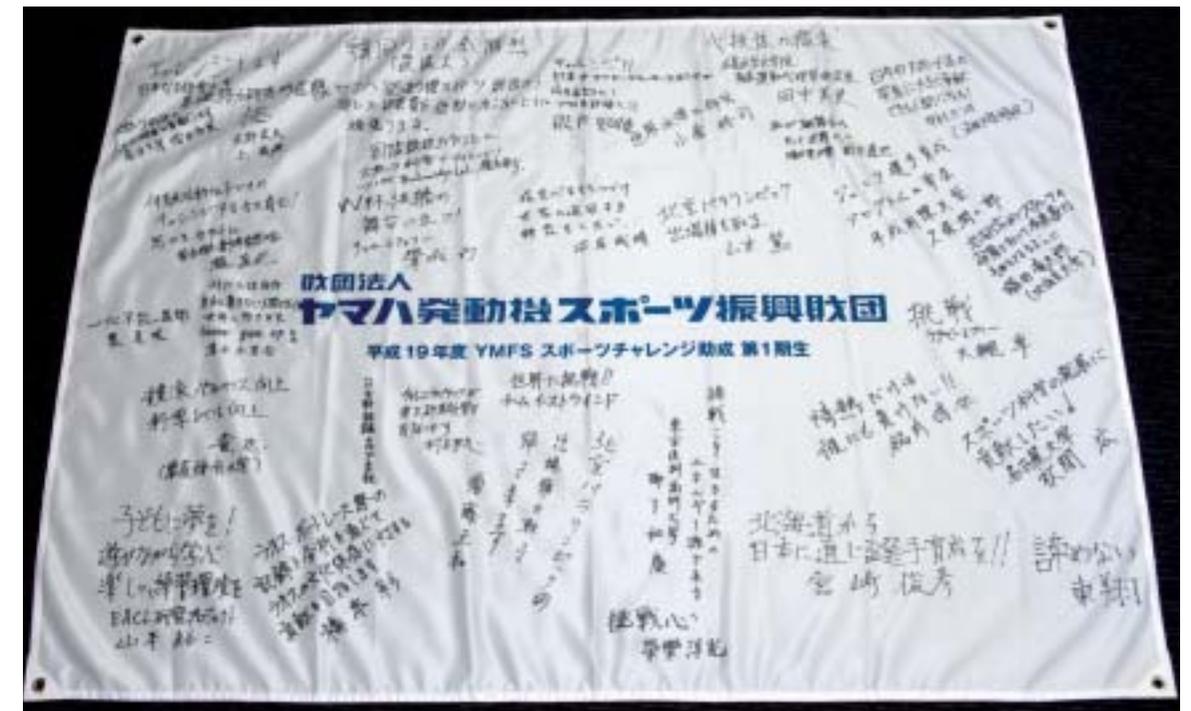


留学生や希望者にとって、募集の時期、奨学金決定の時期が遅く、応募が伸び悩んだ。次年度募集はその点を考慮し、早めの打ち出しとした  
 決定した奨学生は非常に優秀であり、熱心に勉強、研究をしている

【平成19年度 YMFS助成対象者 / 奨学生 第1期生一覧】 順不同

YMFSスポーツチャレンジ体験助成		
氏名・団体名	競技種目/他	体験テーマ
能戸 知徳	自転車ラリー / 選手	オフロードレース・クロスカントリーラリーに出場し経験を積む
小島 智子	チアリーディング / 選手	日本人初5年連続NFLチアリーダー合格を目指して
東 翔	水泳 / 選手	北京五輪出場に向けての自己のレベルアップ
榮樂 洋光	セーリング / 選手・指導者	セーリング競技における競技力とコーチング能力の向上
大槻 卓	ラグビー / 審判	IRBパネルレフリーへのチャレンジ
レフェリーカレッジ	サッカー / 審判	レフェリーカレッジ2007 - トップレフェリーを目指して -
チームイーストウインド	アドベンチャー / 選手(チーム)	世界最高峰のアドベンチャーレースで優勝を目指す
山本 篤	陸上(障がい者スポーツ) / 選手	陸上競技100m 走幅跳 北京パラリンピックへの挑戦
須藤 正和	セーリング(障がい者スポーツ) / 選手	北京パラリンピックの出場権を取るために
森下主税	陸上(障がい者スポーツ) / 選手	陸上競技1500m・800m 日本新記録樹立
荒 美咲	馬術 / 選手	馬術において3年連続での国体出場と全日本選手権に出場、入賞を目指す
岡本 達也	サッカー / 選手	世界で活躍する選手になるために
中京女子大学 硬式野球部	硬式野球 / 選手(チーム)	めざせ「1勝」
銘苅 淳	ハンドボール / 選手	自身の競技力向上とハンドボールの普及・強化について
清水 小百合	スピードスケート / 選手	世界の舞台で人々に夢と感動を与えられるスケート選手になるために
YMFSスポーツチャレンジ研究助成		
氏名・団体名	研究テーマ	
EACL( Environment-Action Coupling Learning: 環境・行為結合学習 )研究プロジェクト	サッカースキル獲得のための「もぐらたたき型バスターナー」の開発	
橋本 彩	ラオス・ボートレースの民族誌	
独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立妙高青少年自然の家	チャレンジできる子どもを育てる研究 ~ 非日常の体験活動が子どもに及ぼす影響 ~	
村木 里志	筋横断面積からみた運動・スポーツの身体的効果について	
国立スポーツ科学センター スポーツ科学研究部 生化学研究室	遺伝子発現からみた低酸素トレーニングの効果に関する研究	
宮崎 俊彦	青少年の牽引走における疾走パワーの研究	
広島大学大学院 身体運動心理学研究室	心理的プレッシャーによってなぜ運動パフォーマンスが低下するか? - 認知的側面と行動的側面の影響 -	
金沢大学大学院 教育学研究科 運動生理学研究室	安全なレジスタンストレーニング方法の検討 - 伸張性収縮は心血管系の応答を抑制するか? -	
東京医科歯科大学 高気圧治療部	肉離れに対する早期競技復帰のための高気圧酸素療法の検討	
沼尾 成晴	一過性有酸素性運動中の血中アディポネクチン濃度の動態	
京都市立芸術大学	運動性疲労による味覚感受性の変化について	
順天堂大学 スポーツ健康医学研究所・運動生理学研究室	日本人におけるACTN3遺伝子型と筋線維組成の関わり ~ ACTN3遺伝子型はタレント発掘のツールとなり得るか? ~	
日本女子体育大学 基礎体力研究所	呼吸法の違いがレジスタンス運動時の脳血流調節に及ぼす影響	
藤井 竜太郎	fMRIでの脳活動計測による口腔機能と身体運動機能との関係解明	
秋間 広	深層筋である大腿部の中間広筋の筋活動を記録する試み	
平成国際大学 スポーツ科学研究所	姿勢制御能力のトレーナビリティに関する研究 - 年代ごとの差異について -	

YMFS国際スポーツ奨学金			
氏名	国籍	留学国	留学テーマ
中村 さつき	日本	アメリカ	アメリカにおけるスポーツ選手をめぐる法律問題研究のため
黄 忠	中国	日本	生理学および力学的要因に基づいた競泳パフォーマンスとテクニックの限定要因の解明
金 勝烈	韓国	日本	長期運動が脳内機構と運動神経伝導速度に及ぼす影響(運動出力に着目して)



# スポーツ文化向上事業

## 第19回全国児童「水辺の風景画コンテスト」

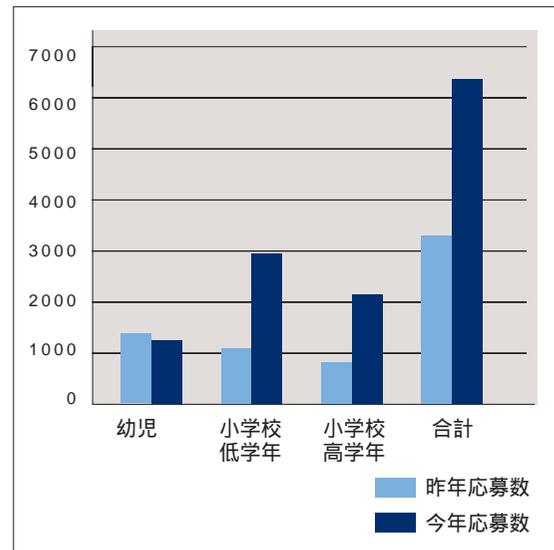
【応募期間】 平成19年7月10日～9月30日 【応募件数】 6,373件

### 【県別 応募状況】

	幼児	小学校		合計
		低学年	高学年	
北海道	106	105	11	222
青森県	41	10	13	64
岩手県	26	14	25	65
宮城県	27	60	40	127
秋田県		2	4	6
山形県	47	22	17	86
福島県		85	91	176
茨城県	64	218	124	406
栃木県		13	18	31
群馬県		22	8	30
埼玉県	2	84	38	124
千葉県	2	82	55	139
東京都	2	17	49	68
神奈川県	11	70	50	131
新潟県		93	82	175
富山県			1	1
石川県	68	41	36	145
福井県		12	14	26
山梨県	1	1	1	3
長野県	60	96	51	207
岐阜県	1	43	17	61
静岡県	37	124	60	221
愛知県	6	28	47	81
三重県	108	3	7	118

	幼児	小学校		合計
		低学年	高学年	
滋賀県		191	78	269
京都府	1	17	2	20
大阪府	1	35	36	72
兵庫県		86	102	188
奈良県		15	10	25
和歌山県	75	99	87	261
鳥取県		58	52	110
島根県	129	2	4	135
岡山県	3	176	135	314
広島県	38	9	3	50
山口県	45	15	5	65
徳島県	12	190	211	413
香川県	49	4		53
愛媛県	1	82	52	135
高知県	1	14	28	43
福岡県	33	209	131	373
佐賀県		18	9	27
長崎県	201	44	42	287
熊本県	2	192	188	382
大分県		10		10
宮崎県		89	67	156
鹿児島県	64	126	60	250
沖縄県		6	6	12
Thailand			10	10
合計	1264	2932	2177	6373
昨年応募数	1406	1091	847	3344

### 【応募数昨年比】



昨年の約2倍の6373点の応募  
 昨年比、小学校は2.6倍の伸びながら、幼児は1割減  
 全都道府県からの応募があった  
 徳島、茨城、熊本、福岡、岡山など地方圏からの応募数が多く、東京、大阪、愛知など都会地の都府県からの応募が少なかった  
 臨場感があふれる作品および子供らしい元気な作品が多かった  
 一部を除き教育委員会から各学校への伝達が円滑であった  
 小学生応募30件以下の  
 青森、秋田、群馬、東京、富山、福井、山梨、愛知、三重、京都、大阪、島根、広島、山口、香川、佐賀、大分、沖縄は検討要  
 幼稚園への伝達の検討要  
 夏休みを挟みでの募集期間にしたことで夏休みの思い出となる作品が増えたことは喜ばしい

## 第19回全国児童「水辺の風景画コンテスト」作品と表彰式

### 文部科学大臣賞

#### 「おじいちゃんとさざえとりがっせん」

長尾 光倫(ながおわひと) (埼玉県鶴ヶ島市 藤小学校1年)



#### 表彰式

開催日時 12月18日(火)13:30～  
 表彰式開催地 埼玉県鶴ヶ島市藤小学校  
 出席者 鶴ヶ島市教育委員会 長岡参事、楨校長、保護者  
 賞状代読 長岡参事



### 国土交通大臣賞

#### 「ぼくもおおきくなったらやってみたいな」

島田 好章 (山梨県中央市 まみい保育園6歳)



#### 表彰式

開催日時 12月10日(月)15:00～ 同学年集会  
 表彰式開催地 山梨県中央市 まみい保育園  
 出席者 国土交通省関東地方整備局 大塚港政調整官  
 田村園長、他職員、同学年園児、保護者  
 賞状代読 大塚港政調整官

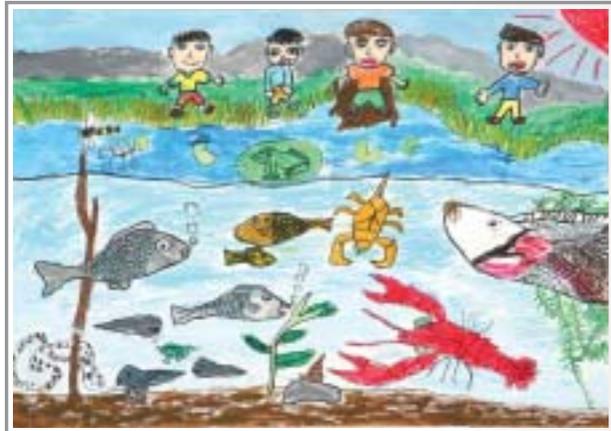


第19回全国児童「水辺の風景画コンテスト」作品と表彰式

環境大臣賞

「かぞくでいけのかんさつ」

菅原 崇臣 (石川県河北郡内灘町 清湖小学校2年)



表彰式  
開催日時 12月21日(金)13:40～ 終業式  
表彰式開催地 清湖小学校  
出席依頼 南校長他、全職員、全校生徒  
賞状代読 南校長

農林水産大臣賞

「今年のカツオは形がええのお!」

高尾 美有 (岡山県岡山市 朝日塾小学校6年)



表彰式  
開催日時 12月17日(月) 9:10～ 全校朝礼  
表彰式開催地 学校法人朝日学園朝日塾小学校  
出席者 水産庁 漁港漁場整備部 計画課 利用調整班 浜崎係長  
中山校長、他全職員、全校生徒、保護者  
賞状代読 浜崎係長

WEBサイト

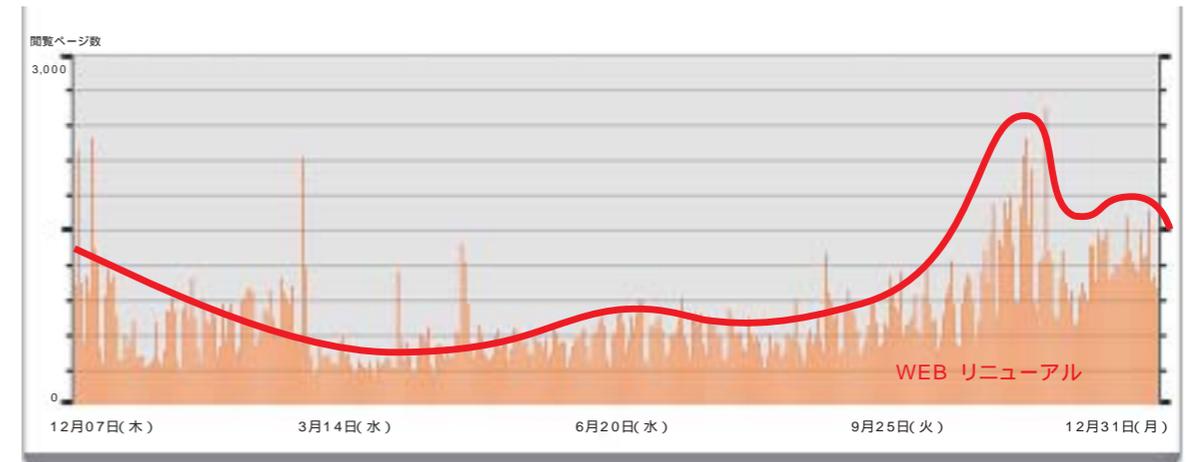
http://www.ymfs.jp/ 日当りのビクター数推移(平成18年12月7日~平成19年12月30日)



1日当りビクター数右肩上がり傾向  
お気に入りサイトとして更なる  
ビクターの増加を図る

リンク元  
YMFSサイトへの移動前  
1. YMC  
2. YAHOO検索  
3. GOGLE検索

ページビュー推移



ページビュー増加(リニューアル後)  
・サイトの普及  
・内容の充実  
・見易さなど  
今後もお役立ち情報など  
内容充実を図る

閲覧ページ  
1、トップページ  
2、トップイメージ  
3、チャレンジ助成トップ  
4、研究助成  
5、体験助成  
6、振興支援事業トップ  
7、文化事業トップ  
8、トップフラッシュ  
9、理事長メッセージ  
10、財団設立リリース

# YMFS通信

## 発送先(メディアリスト)一覧

浜松経済 記者クラブ	メディア	文科省クラブ 日体協クラブ (県市区町村)	教育委員会 (各県)	主要 国公立 大学	理事・評議員 審査委員	チャレン ジャー	ヤマハ 発動機 グループ	関連企業	計	
17	361	100	2,019	56	239	25	34	73	36	2,960

### vol.1 平成19年 5月1日 発行

- [特集] 「平成19年度 YMFSスポーツチャレンジ助成金贈呈式」を開催  
激励メッセージ&助成対象者第1期生インタビュー
- [TOPICS] 「YMFSスポーツチャレンジ体験/研究助成」「YMFS国際スポーツ奨学金」の概要  
平成19年度 YMFSスポーツチャレンジ助成対象者/奨学生 第一期生一覧、応募データ



### vol.2 平成19年 6月28日 発行

- [特集] スポーツチャレンジ助成対象者に見る自分の可能性を「信じる力」  
YMFSスポーツチャレンジ研究助成 研究ファイル(1)
- [INFORMATION] 平成20年度 助成事業の募集要項を決定、「水辺の風景画コンテスト」作品募集開始



### vol.3 平成19年 9月25日 発行

- [特集] 「めざせ、1勝!」中京女子大学 硬式野球部  
YMFSスポーツチャレンジ研究助成 研究ファイル(2)  
YMFS国際スポーツ奨学金 平成19年度奨学生の活動紹介
- [NEWS & TOPICS] 湘南オープンウォータースイミング2007で2連覇 - 東翔さん  
アジアクロスカントリー2007、日本人最高位の4位入賞 - 能戸知徳さん  
レーザーラジアル世界選手権、目標には届かず - 榮樂洋光さん
- [INFORMATION] 「YMFSスポーツチャレンジ助成」平成20年度募集を開始!  
「水辺の風景画コンテスト」の締め切り迫る!



vol.4 平成19年 12月17日 発行

[ 特集 ] YMFSスポーツチャレンジ体験助成 第1期生活動レポート

- 大学経由で再びプロをめざす元Jリーガーの「中間報告」 岡本達也さん( 順天堂大学 )
- 夢の実現に向けて確かな前進 中京女子大学硬式野球部
- ジャパンパラリンピックで日本新記録を樹立! 森下主税さん
- 自己の持つ日本記録を更新し、目標は北京での「金」 山本篤さん
- 選手生命を脅かす怪我から、懸命のリハビリで競技に復帰 清水小百合さん
- 国体で6位に入賞、新たな人生のスタートへ 荒 美咲さん
- わか杉国体ではシングルハンダー級で優勝も、コーチングスタイルの確立を目指し奮闘中 榮 樂 洋光 さん

[ NEWS & TOPICS ]

- 第1回YMFSマリンスポーツ振興・提携スクール会議を開催
- 水辺の風景画コンテストの入賞作品を決定、教育機器提供先活動レポート



M E M O